

第2回 宇部SDGsパブリック・ディベート大会 実施結果

- 1 開催日：令和2年11月3日（祝）
- 2 会場：宇部市総合福祉会館
- 3 参加校：宇部フロンティア大学附属香川高等学校、慶進高等学校、慶進中学校、山口大学
- 4 実施内容：プラスチックごみの削減に向けて～いま宇部市が取り組むべきこと～
- 5 対戦結果：優勝 慶進高等学校
- 6 各校の政策立論
 - 宇部フロンティア大学附属香川高等学校
 - ・ 清掃活動に関するイベントを開催し、ごみが落ちていた場所を地図にプロットし、回収したごみは各自で分別。
 - ・ ごみの回収量や分別の正確さ等を点数化して順位をつける。また、ごみ分別等の様子をSNSに投稿すると宇部市限定商品等をプレゼント。
 - ・ 回収したプラスチックは、道路舗装やブロックの原料としてリサイクル。
 - 慶進高等学校
 - ・ プラごみの分別は煩雑なため、ケーススタディーを活用して市民の分別に対する知識を深め、プラスチックごみのリサイクル率を向上させる。
 - ・ ケーススタディーは小・中学生を対象に実施するが、保護者や希望される市民も参加可能とする。
 - 慶進中学校
 - ・ 市内の各所にプラスチックごみの回収・処理施設を設置し、いつでもプラスチックごみを出せるようにする。
 - ・ 回収のためエリアごとに回収車を巡回させ、回収率を高める。
 - 山口大学
 - ・ マイバックの利用などプラスチックごみ削減につながる行動に対し、アプリを活用した市独自のポイント制度を実施。
 - ・ インセンティブがあることで、幅広い年齢層にプラスチックごみの削減に向けた行動。